

ロータリーに輝きを

# 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：ゲイリーC.K.ホアン 2800地区ガバナー：池田 徳博 ガバナー補佐：大久保 章宏  
 会長：布施 富将 幹事：寺崎 利彦 会報委員会 委員長：浅野 裕幸  
 委員：金田 亮一 茨木 寛司 土屋 瞬 佐藤 直人

## 第2069回例会

2015-1/27(火) 天気(曇り)

□例会場：ホテルキャッスル

□点 鐘：PM 12:30 布施 富将 会長

□司会進行 (SAA)：伊藤 誠 君

□ロータリーソング：「我等の生業」

### 会長挨拶



皆さん、こんにちは。先週は新年のご祈祷と新年会でした。皆さん何をご祈祷されましたか。早いもので1月も最後の例会となりました。1月は何度か新年会があったと思いますが、もう全部終わりましたか。私は2月に入ってからも何度か残っておりますので、もう少し新年の気分が抜けきらないところかと思えます。

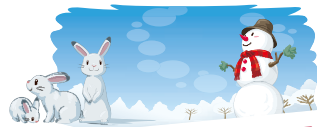
先日、山形銀行の長谷川吉茂頭取のお話を聞く機会がございました。「2015年、経済界の10大ニュース」というテーマでした。10項目のお話をされたわけですが、その中で日本はデフレからいつ脱却するのか。

ということをお話になり、その時期として今年の10月頃ではといったところでした。その理由として円安の影響をあげておられ、その円高の理由も経済活動より政治力の影響が強いというようなこともお聞きしてまいりました。

海外の情勢も何かと大変なようです。先日ギリシャの選挙が行われましたが、ギリシャでは失業者は国家公務員にするそうで、公務員の割合が国の50%にもなるそうです。なので、国の給与としての支出が多く借金も多いのかと思いがちですが、日本の借金のほうが倍近くもあるようで日本の方が大変なようです。何かと大変なことが多いようですが、我々は個々が豊かになるようなことを考えていきましょう。

### 幹事報告 寺崎 利彦 幹事

1. 本日、例会終了後クラブ協議会がありますので委員長の皆様はよろしくお願いたします。
2. 2月21日の第5ブロック1Mの案内が来ております。登録されている方はよろしくお願いたします。



### 本日の一言

#### 1月のテーマ

今年の抱負・目標を一言で教えてください

年度後半、親睦活動の大成功を目指し皆様のご協力をお願いいたします。



阿部 浩一君

### 委員会報告

#### ■ニコニコBOX 木村 政則 君

- 青山治右衛門君 平成27年は、新たな気持ちで例会に出席していきます。  
 寺崎 利彦君 新年会では還暦のお祝いをして頂きありがとうございます  
 鈴木 利明君 新年会では還暦のお祝いをして頂きありがとうございます  
 長沢 一好君 新年会では古希のお祝いをして頂きありがとうございます  
 武田 和夫君 新年会では傘寿のお祝いをして頂きありがとうございます  
 武田 秀則君 新年会では古希のお祝いをして頂きありがとうございます

#### ◇2月の記念日◇

- |         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 会員誕生日   | 三沢 寛 君・齋藤 源七 君・長谷部成昭 君           |
| 結婚記念日   | 伊藤 誠 君・中村 篤 君・関根 隆清 君<br>松田 勝彦 君 |
| 奥様誕生日   | 鈴木 政康 君・菊川 明 君・高梨 英吉 君           |
| 企業創立記念日 | 金田 亮一 君・宮舘 順治 君・川合 賢助 君          |

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200



土屋 瞬 君

皆さん、こんにちは。土屋瞬と申します。私は昭和57年に生まれ、今年で33歳になります。置賜の高畠町出身でございます。高畠は歴史が古く、まほろばの里とよばれています。まほろばとは、古事記などにしばしばみられる「まほら」という古語に由来する言葉で、「丘、山に囲まれた稔り豊かな住みよいところ」という意味を持っています。高畠町は、奥羽の山なみ深くに源流をもつ屋代川・和田川の扇状地に拓けた稔り豊かな美しい町です。山々や丘陵には、貴重な古墳や洞窟岩陰群が点在し、東北の高天原といわれるほどです。また、肥沃な平地には、黄金色の稲穂が頭を垂れ、山間地にかけては、ぶどう、りんご、梨が熟し、まさに「まほろばの里」と呼ぶにふさわしいところだといわれています。子供の頃は縁がなかったのですが、今はとても大好きで実家に帰省するとよく行く高畠ワイナリーもでございます。世界のワイン銘醸地は北緯30〜50度、南緯20〜40度の地帯を「ワインベルト」と呼ばれていますが、高畠ワイナリーは北緯38度、アメリカの高級ワイン銘醸地のナパバレー、ギリシャ等と同じ緯度に位置し、100年以上前からぶどうの栽培が行われてきた高畠町にワイナリーを建設したそうです。そこで、つまみ、ワインを買うのがいつもの事ですが、いつかそこで数々のワインを試飲して酔っぱらいたいと毎回強く思っているのですが、私はいつも「運転手」なので、嫁がかわりに飲んでる姿をとてもらうやましく見ながら帰宅しています。

高校時代はサッカー部に所属していました。あまり、強い高校ではなかったのですが、その頃は体を動かす事がとても好きだったので、部活動にのめり込んでいました。

私の父は歯科医師でございます。反抗期だったとは思いますが、自分はずっと「歯科医師以外の仕事につく」をモットーに勉学にいそしんできましたが、父の背中をみていくうち、歯科医師の道を目指す様になり大学卒業後、秋田で6年間修業をし、平成25年4月に、山形市成沢にあるヨークタウン内に「なりさわ歯科クリニック」を開院しました。

歯科の話をしみると、今現在歯科医院の数は、全国で約8万件存在するといわれ、これは全国にあるコンビニの数に匹敵するそうです。現在、歯科医師過剰時代といわれております。東京では5人に1人の歯科医師は平均年収300万以下といわれ、毎日歯科医院が経営できなく閉院しているといわれています。そういう今は厳しい時代といわれております。

歯科の技術の話をしみると、皆さんも1度は耳にした事はあるかもしれませんが、ここ10年の間に飛躍的に伸びてる技術の1つにインプラントというものがあります。一昔前まで、歯が歯周病、または虫歯で歯が崩壊し、歯がなくなった場合、両隣の歯を360度削って取り外しができないブリッジを装着するか、もしくは取り外し式の入れ歯にするかが主流でした。しかし、ブリッジは隣が健康な歯だった場合、その健康な部分を全て削らなくてはならない事と、歯がない部分にかかる力を他の部分の歯に助けてもらうので、その他の歯が早くダメになるリスクがあります。また入れ歯はブリッジほど歯をけする行為は必要ないですが、歯茎にかかる負担がものすごく大きいので、入れ歯をいれると痛いということや、取り外しが面倒、また噛む力が自分の歯の場合100%だとすれば、ブリッジは60〜70%、入れ歯は約20%といわれています。これらの欠点をどうにか解消できないかということで、新しくでてきた技術としてインプラントができました。インプラントは隣の歯を削る必要ありません。またほぼ固定性なので、取り外す必要もありません。自分の歯で噛む力が100%だとすれば、インプラントは95%以上といわれております。ただ、欠点をあげるとすれば、まず1つは、外科的な手術が必要となります。骨にチタン製の

金属を埋めるということです。ただし、言い方はこわいですが、機械で最小限に穴をあけるので、例えばおやしらすなどを抜くよりも痛みも腫れも最小限にできます。もう1つはメンテナンスが必要で、半永久的にインプラントを使用してもらうために、定期的に精密なチェックと、歯科医師、歯科衛生士によるプロフェッショナルの歯のクリーニングが必要です。ある意味車の車検と同じようなものです。

最後に、ブリッジや入れ歯と違い、インプラントは保険がききません。以前東京で審美歯科の研修会で勉強をさせていただいた先生はインプラントから上の差し歯まで、すべて込みで1本100万円で患者さんに提供しているとの事でした。先生の技術的価値や、地域差があり、値段はまちまちなのが現状です。ちなみに歯1本の価値とは一体どれくらいなのでしょう？ある県であってはならない事ですが、患者さんの本来抜かなければならない歯とは、別な歯を抜いてしまい、医療訴訟で裁判になった事例がありました。その時、原告の患者が勝訴しましたが、その時国が支払いを命じた1本の歯の価値が約120万という事でした。ということは、人間のお口のなかには、親知らずという歯をぬかせば、審美的と、機能的に使う歯は28本あります。国が認めた歯の価値に換算し、合計すると約3,000万の価値があるということです。お金に換算する事は、あまりに暴力的な話なのかもしれません。ただ自分のお口、そして自分の歯にはそれだけ価値があるとみなさんには知っていただきたいと思えます。

歯医者さんには、例えばズキズキ歯が痛むなど、何かないと行きにくいイメージがないでしょうか？ただし痛む時は神経を抜いたり、時には歯を抜いたりするケースが約7割を占めます。歯を抜いたらそれまでですが、神経を抜くのも歯の寿命を縮めてしまいます。今までの歯科の時代は「キューア」、治療が主体でしたが、それではやはり歯の保存という意味では難しいということで、痛くなる前にチェックし予防する「ケア」に移行しつつあります。痛くなる前にかかりつけの先生にみてもらう事はとても大事な事なのです。

歯科の技術は日進月歩です。昔は歯を削って、歯型をとり、約1週間技工士さんに歯をつくってもらい、歯を接着していたものですが、今はレーザーで削った歯をその場でスキャンし、1時間ほど待合室で待っていただいている間、機械がセラミックのブロックを削り1時間後に歯を装着する機械もございませ。時間がとれなく、これからすぐ歯がほしいという方にはすごく最適ですし、審美的、機能的にも満足したものが入ります。将来的にはCTという特殊なレントゲン画像とその機械が連動し、型をとらなくてもその患者さんにあったマウスピースや、なんと入れ歯まで作ることも可能になるらしいです。また最近では、美容整形の範囲でもあるヒアルロン酸注入治療というものもございませ。法令線などしわが気になる方は、選択される患者さんも多く、手術する前と、手術したあとでは、やはりしわのはりが全然違います。また歯周病が気になる方は、短期集中歯周治療として、約2か月歯茎の治療をおこなう3dDSという治療もありませ。プログラムを組んで、1回60分から90分、色々な機械や特殊な薬剤をつかい、一気に歯周病のもととなる菌を除菌するという方法です。従来の保険の歯周治療で治らなかつた方も、ほぼ満足してくれています。

最後に、インプラントにもどりますが、インプラントはとてもいい治療ですが、治療の診断を間違えば、とても危ないものになってしまいます。2、3年前あたりから、NHKでインプラントバッシングがありました。インプラントなんてとんでもないと、患者さん側からすれば、見てて恐ろしいという内容でしたが、歯科医師側からみれば、なんかリスクが誇張されすぎで、やや製作者の歯科医師に対する悪意でもあるのかなとかんがってしまう内容のものでした。その放送をみて、以前の秋田の病院ではその週インプラントオペを予約されていた患者さんがキャンセルするということがその月、何件もありました。ただ、インプラントを埋入する際、それ以前の正しい診査、診断とそれに伴った歯科医師の技術、リスクを最小限にするためのCTという特殊なレントゲン撮影、正規の材料、そして患者さんの全身状態を把握し、何より患者さんとの信頼関係があれば、とても素晴らしい治療だということです。ただ、自分の歯に勝るものはありません。自分の歯とインプラントを比較すれば、100%自分の歯の方が有利です。また入れ歯やブリッジでも、定期健診でそのケアをしていけば、長くもたせることだって可能です。みなさんご自身の歯がとても価値のあるものだ、今日の卓話で少しでも感じ取っていただけたらとてもありがたいです。ご清聴ありがとうございました。

○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	53名		39名	
前回修正	53名	47名	47名	100.0%
他クラブで メイクアップ された会員	(山形) 新野 義章 (山形東) 阿部 浩一 (山形) 青山治右衛門	土屋 貴英 土屋 瞬 菊地 賢治	鎌倉 拓史 神崎 祐子 土田 貴英	鈴木 利明 太田幸一郎

※本日の結果は2週間後に報告

※修正は2週間前の結果報告

出席会員数÷算出会員数=出席率

算出会員数とは？

出席義務会員+メイク免除会員の出席者

出席会員数とは？

出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員